

【報告】 専門委員会の開催状況について

1 大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会について

(1) 付託事項

大会テーマ、シンボルマーク及びポスター原画の募集及び審査・選定に関すること

(2) 会議の開催状況

○第3回会議

開催日 平成29年10月10日

内容等 大会ポスター原画の選定を行った。事前に一次審査、二次審査を行い、66点に絞り込んだ上で、三次審査として会議を実施。

別紙1のとおり「第70回全国植樹祭愛知県実行委員会会長賞」を選定した。

(3) 会議に至るまでの経緯

○一次審査 対象：12,439点→結果：503点

各小中学校で優秀作品を1点選定。

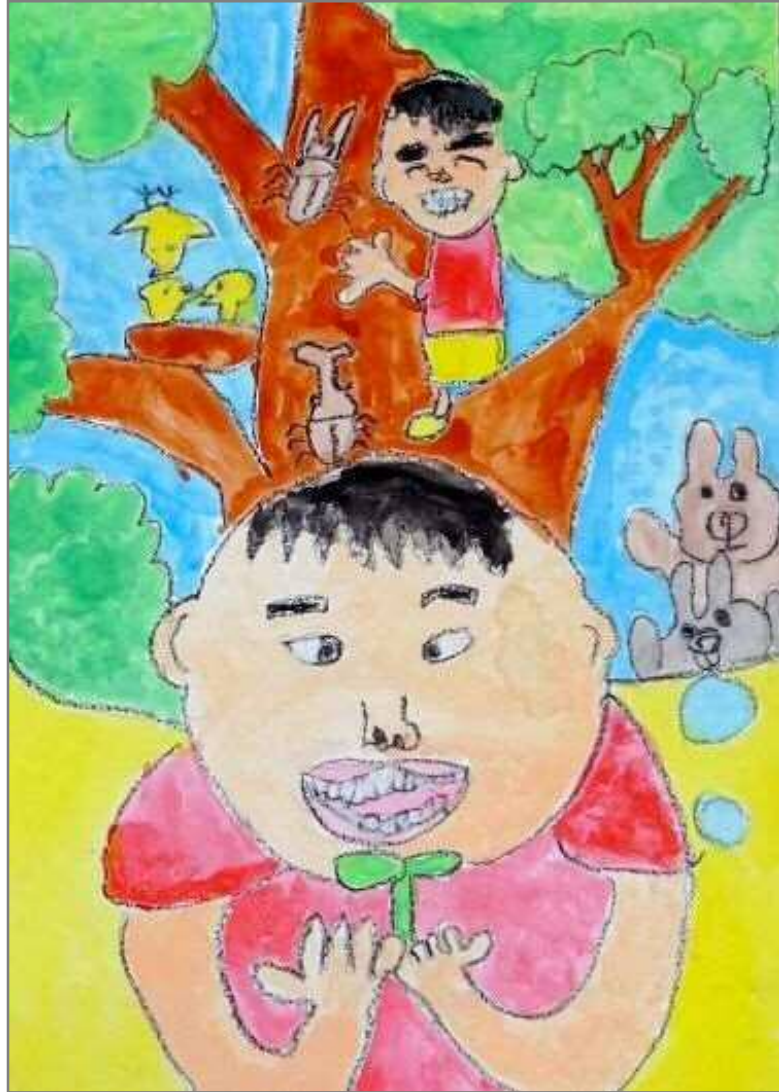
○二次審査 対象：503点→結果：66点

県庁及び農林水産事務所において審査。

○三次審査（専門委員会第3回会議） 対象：66点→結果：1点

第3回会議において1点選出。

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会会長賞作品



画題：「ぼくの木」

作 者 さいとう ゆうだい つひら
齋藤 悠大くん（西尾市立津平小学校2年）

制作の意図 ぼくのうえた木に、大すきなかぶとむしやたくさんの生きものが、たのしくらせるようになるといいと思ってかきました。

- 講 評
- ・植樹のポスターということが見て分かりやすい。
 - ・自分の植えた木の将来像として、木が昆虫や鳥などの動物達に役立つ姿が上手に描かれている。
 - ・一度見たら記憶に残る作品であり、インパクトがある。

2 式典演出専門委員会について

(1) 付託事項

- 式典行事の演出・内容等の決定に関すること

(2) 会議の開催状況

○第3回会議

開催日 平成29年8月7日

内容等 「式典の楽曲に関する考え方」、「式典アシスタント及び介添え等の選定方法」について検討を行った。

3 植樹樹種専門委員会について

(1) 付託事項

○植樹行事における会場及び樹種の選定に関すること。

(2) 会議の開催状況

○第3回会議

開催日 平成29年8月21日

内 容 「植樹会場候補地」及び「一般招待者の植樹樹種候補」について審議を行うとともに「お手植え・お手播き樹種の解説」について検討を行った。

○第4回会議

開催日 平成29年12月26日

内 容 「お手植え・お手播き樹種の解説」について審議を行った。

※詳細は別紙1「植樹樹種専門委員会の結果について」のとおり。

植樹樹種専門委員会の結果について

1 植樹会場候補地について

○3つの「植樹会場候補地」が森林公園内にあるため、周辺道路にバスが集中することによる混雑が懸念されることから、新たに「愛知県昭和の森」及び「愛知県森林・林業技術センター」に会場を設けることとなった。また、既に天然林として成林している植樹会場（運動公園テニスコート）を候補地から除外した。

植樹会場候補地比較表

【原案】

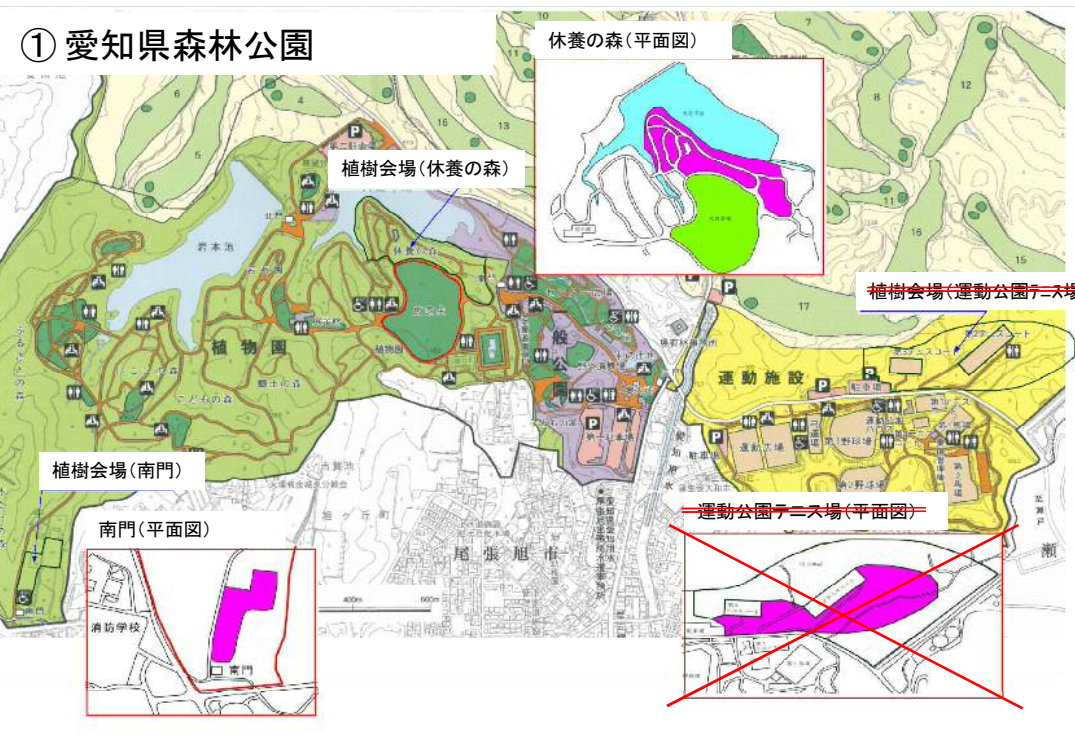
施設名	名称	所在地	状況	植栽本数
①愛知県 森林公園	休養の森	尾張旭市	○広葉樹林（人工林） ○間伐（平成29年度） ○広葉樹植栽	8,000本
	南門		○無立木地 ○広葉樹植栽	
	運動公園テニスコート		○広葉樹林（天然林）	



【変更後】

施設名	名称	所在地	状況	植栽本数
①愛知県 森林公園	休養の森	尾張旭市	—	8,000本
	南門		—	
②愛知県 昭和の森	四季の丘	豊田市	○無立木地 ○広葉樹植栽	
	記念の森 (前回大会会場)		○ヒノキ林 ○皆伐（平成29年度） ○広葉樹植栽	
③愛知県森林・林業技術センター		新城市	○スギ・ヒノキ林 ○皆伐（平成30年度） ○スギ（少花粉スギ）	

植樹会場候補地位置図及び平面図



2 一般招待者の植樹樹種候補について

- 種子を採取できなかった種について候補から除外した。
- 植樹会場候補地にスギ林である「愛知県森林・林業技術センター」を追加したため「スギ」を候補樹種に追加した。

一般招待者の植樹樹種候補比較表

【原案】

区分		種数	樹種名
高木	落葉	15	アベマキ、コナラ、フモトミズナラ、エノキ、ムクノキ、 <u>エトヒガン</u> 、ウリスザクラ、ヤマザクラ、アズキナシ、イロハモミジ、エコノキ、シデコブシ、 <u>サクラハハシノキ</u> 、 <u>ヒトツバタゴ</u> 、 <u>ハナノキ</u>
	常緑	9	アラカシ、シラカシ、ツブラジイ、クスノキ、ヤブツバキ、モチノキ、 <u>クロガネモチ</u> 、ヤマモモ、ソヨゴ
低木	落葉	6	<u>マンサク</u> 、コハノミツハツツジ、ムラサキシキブ、コハノガマスミ、ガマスミ、タニウツギ
	常緑	3	アオキ、 <u>アセビ</u> 、シャシャンボ
計		33	

※赤字は種子が採取できなかった樹種






【変更後】

区分		種数	樹種名
高木	落葉	11	アベマキ、コナラ、フモトミズナラ、エノキ、ムクノキ、ウリスザクラ、ヤマザクラ、アズキナシ、イロハモミジ、エコノキ、シデコブシ
	常緑	9	アラカシ、シラカシ、ツブラジイ、クスノキ、ヤブツバキ、モチノキ、ヤマモモ、ソヨゴ、 <u>スギ</u>
低木	落葉	5	コハノミツハツツジ、ムラサキシキブ、コハノガマスミ、ガマスミ、タニウツギ
	常緑	2	アオキ、シャシャンボ
計		27	

※スギは、あいちニコ杉とする。

3 お手植え・お手播き樹種の解説について



(1) 天皇陛下お手植え樹種（3種）

樹種	特徴・選定理由等
	<p>スギ（あいちニコ杉） 愛知県の人工林の未来を担う少花粉スギ</p> <ul style="list-style-type: none"> 三河山間部は、江戸時代から「三河スギ」の産地として有名です。 「あいちニコ杉」は、愛知県が推奨する花粉の飛散が少ない少花粉スギの愛称で、平成25年度に公募により命名されました。
	<p>クスノキ 愛知県の「市町村の木」選定数No. 1、巨木の代表格</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛知県森林公園がある尾張旭市と名古屋市を含め、県内の12市町村で「市町村の木」に選定されています。 蒲郡市の「清田（せいだ）の大クス」が国の天然記念物に、岡崎市の「寺野（てらの）の大クス」と豊田市の「八柱（やはしら）神社のクス」が県の天然記念物に指定されています。
	<p>フモトミズナラ 名前が変遷している珍しいドングリの木</p> <ul style="list-style-type: none"> 以前はモンゴリナラと呼ばれていましたが、ミズナラに似ているため、平成18年に新たにフモトミズナラと命名されました。 愛知県と岐阜県、そして北関東のみに分布する希少種で、県のレッドリストで準絶滅危惧に区分されている種です。



(2) 皇后陛下お手植え樹種（3種）

樹種	特徴・選定理由等
	<p>シデコブシ 白からピンクの花をつけ、里山の春を彩る代表的な木</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛知県・岐阜県・三重県のみ分布する固有種で、国のレッドリストで準絶滅危惧に、県のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に区分されている種です。 田原市の「栴（なぐさ）のシデコブシ自生地」が国の天然記念物に指定されています。
	<p>ヒトツバタゴ 春に白い花をつけ、雪に覆われたような姿が美しい木</p> <ul style="list-style-type: none"> 別名「ナンジャモンジャ」として親しまれる、愛知県・岐阜県・長野県及び九州（対馬）に隔離分布する木で、国のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に、県のレッドリストで絶滅危惧ⅠB類に区分されている種です。 犬山市池野の「ヒトツバタゴ自生地」が国の天然記念物に指定されています。
	<p>シキザクラ 開花時期が長い珍しい桜</p> <ul style="list-style-type: none"> 春はもちろん、秋の彼岸頃から雪の降る冬にも花をつけるので、四季に咲くサクラという意味から「シキザクラ」と名づけられました。 豊田市小原地区周辺では、県指定の天然記念物となっている樹齢百年以上の名木を始め、約1万本が植えられています。

(3) 天皇陛下お手播き樹種（2種）

樹種	特徴・選定理由等
	<p>ヒノキ 愛知県の林業を支える木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の人工林で植栽面積が最も広い樹種です。 ・ 本植樹祭では、昭和54年第30回全国植樹祭において昭和天皇がお手植えされ、平成15年第27回全国育樹祭で皇太子殿下がお手入れされたヒノキから採取した種子を使用します。
	<p>アベマキ 愛知県の里山を代表する木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般的に里山の代表樹種とされているのはコナラとクヌギですが、本県ではクヌギはほとんどなく、アベマキが目立ちます。 ・ 丘陵地～低山地に広がる痩せ山に多く、耐乾性があり、大木に育ちます。 ・ 名古屋市の「城山八幡宮の連理（れんり）のアベマキ」は縁結びの御神木として有名です。

(4) 皇后陛下お手播き樹種（2種）

樹種	特徴・選定理由等
	<p>ハナノキ 早春につける紅色の花が印象的な「県の木」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知県を代表する木で、国のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に、県のレッドリストで絶滅危惧ⅠA類に区分されている種です。 ・ 日本万国博覧会開催（大阪万博）を記念して実施された「緑のニッポン全国運動」の一環で、昭和41年の県民投票により県の木に選ばれました。 ・ 豊根村にある「川宇連（かわうれ）ハナノキ自生地」が国の天然記念物に指定されています。
	<p>マメナシ 春に白く可憐な花をつける野生のナシ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知県と三重県のみ分布する木で、国のレッドリストで絶滅危惧ⅠB類に、県のレッドリストで絶滅危惧ⅠA類に区分されている種です。 ・ 本県では名古屋市付近の湿地やため池の周辺などに自生しています。 ・ 小牧市の「大草（おおくさ）のマメナシ自生地」が県の天然記念物に指定されています。

4 木材利用専門委員会について

(1) 付託事項

○式典会場等の木材利用方法に関すること。

(2) 会議の開催状況

○第2回会議

・開催日 平成29年4月26日

・議事

議案1 全国植樹祭の会場で使用する県産木材の利用計画について

議案2 会場整備における専門委員会で決定する事項について

議案3 木材利用に向けた協働について

議案4 木材利用の普及啓発について

・検討事項

(1) スケジュールについて

(2) お野立所の後利用について

○第3回会議

・開催日 平成29年7月31日

・議事 お野立所について

○第4回会議

・開催日 平成29年9月20日

・議事 お野立所について

※会議の詳細は別紙1「木材利用専門委員会の結果について」のとおり。

木材利用専門委員会の結果について

1 全国植樹祭の会場で使用する県産木材の利用計画について

○以下の施設において県産木材を使用する。

新案内所、お野立所、特別招待者席、招待者歓迎入場ゲート装飾、三旗掲揚棟、進行台、シンボル台、御机、お手播き箱、鍬、枘等、椅子（特別招待者、一般招待者）、プランター、式典会場及びおもてなし広場等の装飾等

2 木材利用に向けた協働について

○「お野立所」、「特別招待者席」、「招待者歓迎入場ゲート装飾」及び「式典会場及びおもてなし広場等の装飾等」について、「都市の木質化プロジェクト」と協働する。

※都市の木質化プロジェクトとは、「木を創る森づくり」、「木を担う人づくり」、「木を使う街づくり」を取り組みの3つの柱としている任意団体。名古屋大学が事務局を務めており、大学・設計・建設・木材関係者等で構成されている。

【選定理由】

- ・都市に木材を利用することで森林と都市の再生に繋げようとする都市の木質化プロジェクトの思想や取組は、全国植樹祭の開催理念とも合致する。
- ・あいち都市緑化フェアやあいちトリエンナーレなどで愛知県と協働した実績がある。

3 お野立所及び特別招待者席について

○別図のとおり。

(1)お野立所

○山・川・平野・海といった多様で豊かな環境に恵まれるとともに、「ものづくり王国」として技術と伝統が息づき、地理的にも日本の中心である愛知県から、これからの「木づかい」や「森林づくり」を全国に発信することをイメージし、広がりのある開放的な施設とします。

○一般に流通している柱材を利用しながら、曲線的なフォルムを描くことで、「木づかい」を大きく羽ばたかせ、明日へつなぐ本県の姿勢を表現します。

○「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業をはじめ、愛知県が推進する木づかいからの森林づくりをPRするため、全てに県産木材を使用し、大会終了後は、部材を再利用します。

(2)特別招待者席

○県産木材を使用し、お野立所のデザインと調和のとれたものとする事で一体感を生み出します。

全体イメージ



お野立所



特別招待者席



5 おもてなし弁当専門委員会について

(1) 付託事項

○招待者に提供する弁当に関すること。

(2) 会議の開催状況

○第1回会議

開催日 平成29年12月22日

内容等 全国植樹祭及び提供する弁当の概要について説明を行うとともにメニューに関して検討した。

